



Q これから夏の暑い時期になるとこ

ろですが、以前、屋外職場における熱中症発症で作業をしていて体が生状況(速報値)を見るフラフラしたことがあ

と、死傷者数は112

A 体がフラフラしたという状態は、

軽い熱中症の症状では

熱中症の予防対策

8人、死傷者数は29人 作業の中止・作業時間で、前年の発生状況(確の短縮②熱への順化定値)と比べて死傷者(1週間程度かけて暑数、死亡者数ともに2倍を上回っています。③冷房設備を備えた休憩場所のまた、死亡災害の発生確率や通気性のいい作業状況を見ると、建設業の準備④定期的な業などの屋外作業は水分・塩分の摂取なちろん、製造業などのを実施してください。

厚生労働省は17年かた労働者の発見や救急ら、職場における熱中搬送が遅れた例も見受症予防対策の浸透を図けるので、少しでも異変を感じたら、「STOP! 熱中症クったん作業を離れ、状態によっては救急車を呼んでください。また、予防対策として①暑労働者の健康状態の把さ指数(WBGT値)の握等を十分に行ってください。